

山口県感染症発生週報

(第2週:平成28年1月11日～1月17日)

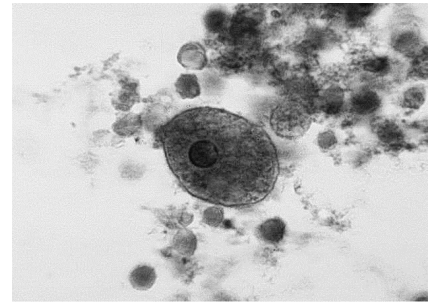
1 全数把握感染症

【2類感染症】

・結核: 2例(山口1、萩1)。

【5類感染症】

・アメーバ赤痢: 2例(周南1、宇部1)。



赤痢アメーバ CDC/Dr. George Healy

2 定点把握感染症(5類感染症)

(1)特記事項

- ・インフルエンザ: 県全体の定点あたり報告数が流行開始の目安である1.00を上回りました。多くの地域で増加し、特に周南、柳井、山口での増加が目立ちます。迅速診断検査結果は、A型139例、B型69例で、27例は臨床診断・型不明でした。病原体検査では、A/H1pdm09、A/H3、B(ビクトリア系統)、B(山形系統)が検出されており、どの型が今シーズンの主流となるかはまだ不明です。
- ・RSウイルス感染症: 減少していますが、長門ではまだ多い状態が続いています。
- ・感染性胃腸炎: 萩で警報レベルが続いています。[警報レベル: 萩(6週目)]*
- ・伝染性紅斑: 萩で警報レベルが続いています。[警報レベル: 萩(11週目)]*
- ・流行性耳下腺炎: 岩国で注意報レベルとなりました。[注意報レベル: 岩国(1週目)]*

※警報レベル・注意報レベルの基準値詳細についてはHPをご覧ください。
<http://kanpokken.pref.yamaguchi.lg.jp/jyoho/report2012/keihotyuuho.php>

(2)週別発生状況

疾患名	53週	1週	2週	疾患名	53週	1週	2週
インフルエンザ	28	68	235	百日咳	0	1	0
RSウイルス感染症	151	151	83	ヘルパンギーナ	1	2	3
咽頭結膜熱	12	26	11	流行性耳下腺炎	17	45	44
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	72	120	123	急性出血性結膜炎	0	0	0
感染性胃腸炎	292	364	386	流行性角結膜炎	1	24	8
水痘	14	22	19	クラミジア肺炎	0	0	0
手足口病	10	7	13	細菌性髄膜炎	0	0	0
伝染性紅斑	24	55	52	マイコプラズマ肺炎	2	1	5
突発性発しん	15	30	30	無菌性髄膜炎	0	0	0
				感染性胃腸炎(ロタウイルス)	2	2	2

(3)地域別発生状況

疾患名	下関	岩国	柳井	周南	防府	山口	宇部	長門	萩	全体
インフルエンザ	48	16	24	54	10	37	33	8	5	235
RSウイルス感染症	26	7	2	24	0	2	7	9	6	83
咽頭結膜熱	2	0	1	6	1	0	0	0	1	11
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	26	6	15	16	4	39	11	2	4	123
感染性胃腸炎	68	23	38	119	14	34	30	23	37	386
水痘	0	3	1	0	0	7	7	1	0	19
手足口病	10	0	0	2	0	1	0	0	0	13
伝染性紅斑	8	5	5	4	5	2	11	0	12	52
突発性発しん	9	0	0	10	2	6	3	0	0	30
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヘルパンギーナ	0	0	0	0	0	0	3	0	0	3
流行性耳下腺炎	19	17	2	4	0	0	1	0	1	44
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性角結膜炎	3	2	2	0	1	0	0	0	0	8
クラミジア肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
マイコプラズマ肺炎	0	3	1	1	0	0	0	0	0	5
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2